

令和4年度 都立高入試 配点について

創育 新教育

都立高入試の予想得点の算出にあたりまして、弊社が予想いたしました配点をお知らせいたします。

国語 ー記述問題の配点についてー

④〔問5〕200字課題作文

●配点…10点

●採点方法

- 記述問題が200字作文1問だけであるため、採点は複数の先生が行い、互いにチェックする形になると思われます。「〇〇について××が書かれている。」のような具体的な基準を各校が定め、段階的に点数を設定していると想定されます。

〈内容〉については下記のような配点がされていると思われます。

- 自分の意見、主張があるか…4点
- 筆者の主張を踏まえているか…3点
- 具体的な体験や見聞があるか…3点

これらの項目について不備がある場合は、各配点の範囲で減点されると思われます。ただし、全体として論旨に一貫性のないものは2点減点、本文の抜き出しや要約になっているものは不可(0点)となると思われます。

- さらに、下記のような形式面で、減点されると思われます。

〈表記〉・句読点の誤り、誤字、脱字、衍字(=余計な字)などがあるもの…1～2点減点

・最後の一文が途中で終わっているもの…1点減点

・101字以上150字以内のもの…2点減点 ・100字以内または201字以上のもの…不可(0点)

〈言葉の特徴やきまり〉

常体と敬体の不統一／書き言葉としてふさわしくない／語句の意味や用法・文法上の誤りがある 等
…1～2点減点

数学 ー記述問題の配点についてー

●配点…各7点

●採点方法

- 模範例についての予想配点です。各学校によって違いはありますが、部分点があると思われます。

②〔問2〕

X, Yを、それぞれ a, b, c を用いた式で表すと、
 $X = 100a + 10b + c$
 $Y = c - b + a$
となる。よって、
 $X - Y$
 $= (100a + 10b + c) - (c - b + a)$
 $= 99a + 11b$
 $= 11(9a + b)$
 $9a + b$ は整数であるから、 $11(9a + b)$ は11の倍数である。
したがって、
 $X - Y$ の値は11の倍数になる。

- X, Yのうち、1つが求められていれば2点、2つが求められていれば4点と思われます。X, Yは順不同でもよいと思われます。
- X - Yの式を変形し、 $X - Y = 11(9a + b)$ が求められていれば2点と思われます。なお、適宜、部分点があると思われます。
- 結論を導くための説明ができていれば1点と思われます。
- 誤字・脱字が1か所以上あると、1点減点になると思われます。

④〔問2〕①

$\triangle ABP$ と $\triangle ACQ$ において、
仮定から、 $\triangle ABC$ と $\triangle ABD$ はともに正三角形だから、
 $AB = AC$ ……………(1)
 $\angle ABP = \angle ACQ$ ……………(2)
仮定から、 $\angle PAQ = 60^\circ$
 $\angle BAP = \angle PAQ - \angle BAQ = 60^\circ - \angle BAQ$
 $\triangle ABC$ は正三角形だから、 $\angle BAC = 60^\circ$
 $\angle CAQ = \angle BAC - \angle BAQ = 60^\circ - \angle BAQ$
よって、 $\angle BAP = \angle CAQ$ ……………(3)
(1), (2), (3)より、
1組の辺とその両端の角がそれぞれ等しいから、
 $\triangle ABP \equiv \triangle ACQ$

- (1), (2), (3)のうち、1つが書けていれば2点、2つが書けていれば4点、3つが書けていれば6点になると思われます。
- (1), (2), (3)は順不同でもよいと思われます。
- 合同条件ができていれば1点と思われます。
- 合同条件の「1組の辺とその両端の角がそれぞれ等しい」は、「2角挟辺相等」などでもよいと思われます。
- 誤字・脱字が1か所以上あると、1点減点になると思われます。

英語 一条件英作文の配点について一

●配点…12点

●採点方法

- ・各学校によって違いはありますが、文法面とともに内容面を重視して採点すると思われます。
- ・今年も、空所の前後につながるように英文3文を記入してメール文を完成させる形式が出題されています。今年の内容は「自分の考える町に公園があることのよい点」であり、具体的内容を1つ示したあと、そう考える理由や関連する内容等を示す文章を続ける解答となると思われます。
時制面では現在形を中心として、幅広い時制の文が認められると思われます。
- ・学校によっては、つづり字などの表記上の誤りがあれば、各文1～3点の減点があると思われます。ただし、同じ誤りを何回も繰り返したような場合は、全体で何点の減点というような配慮がなされると思われます。

社会 一記述問題の配点について一

●配点…各5点

●採点方法

- ・[3] [問3] [変化] について、問題文中に「IとIIの資料から読み取れる、太線で囲まれた範囲に共通した土地利用の変化」とあるので、IとIIのそれぞれの(1)の地区計画の文と、(2)と(3)の地形図を見ると、Iの(1)の文に「住工混在型から商業業務型の土地利用に変更する」、IIの(1)の文に「商業施設などの集積を図る」と書かれていること、IとIIの(2)の地形図に示された範囲にはどちらも共通して工場があったが、(3)の地形図では大きな建物(凡例から商業施設)に変わっていることを読み取ります。また、[要因]について、問題文中に「IとIIの資料から読み取れる、その変化を可能にした要因」とあるので、IとIIの(3)の地形図から、太線で囲まれた範囲はどちらも共通して駅に近いことを読み取ります。そして、「乗降客数が多い駅の一つである福島駅と岡山駅に着目して」と問題文中に示されていることを踏まえて、乗降客数が多い駅に近いということは商業施設を利用する人も多く、商業施設を建設する上で有利であるということ結びつけます。以上のことから[変化]として「工場であった土地に、商業施設が建てられた」ということを簡潔にまとめ、[要因]として「多くの人が集まる駅に近い」ということを簡潔にまとめていけば正答となると思われます。
- ・[5] [問3] まず、問題文中に「IIのグラフから読み取れる、Iの文章が示された背景となる我が国の現状」「取り組みが進んでいるアメリカ合衆国と比較して」「情報通信技術を提供する業種と利用する業種の構成比の違いに着目し」と示されていることをおさえます。Iの文章に、「情報通信技術を利用する業種に十分な情報通信技術をもった人材が必要である」と示されているということは、我が国では十分な情報通信技術をもった人材が情報通信技術を利用する業種では不足しているという現状がわかります。また、IIのグラフを見ると、我が国よりも取り組みが進んでいるアメリカ合衆国では、情報処理・通信に携わる人材が十分で、これらの人材が情報通信技術を提供する業種だけでなく、情報通信技術を利用する業種にも就いており、その割合が高くなっていることがわかります。一方で、これらの人材が不十分な我が国では、人材が情報通信技術を提供する業種に集中しており、情報通信技術を提供する業種に就いている割合が高く、情報通信技術を利用する業種に就いている割合は低いことがわかります。これらのことから、問題文に示された条件を踏まえて「情報処理・通信に携わる人材は、アメリカ合衆国では、情報通信技術を利用する業種に就いている割合が高いが、我が国では、情報通信技術を提供する業種に就いている割合が高い」というアメリカ合衆国と比較した我が国の現状を、簡潔にまとめていけば正答となると思われます。

理科 一記述問題の配点について一

●配点…[5] [問3]: 4点

●採点方法

- ・[5] [問3] 塩酸と水酸化ナトリウム水溶液の中和を化学反応式で表す問題です。化学反応式の「+」や矢印が示されている部分に、それぞれの物質の化学式を入れ込む方式です。どの部分にどの化学式を書くべきか指示があるため、誤った部分に書いてしまうと、不可になると思われます。また、化学式で記述する問題であるため、小文字であるべき部分が大文字に、大文字であるべき部分が小文字になっている場合も、不可となると思われます。

●配点…[6] [問3]: 4点

●採点方法

- ・ ⑥〔問3〕 斜面上の物体にはたらく重力の、斜面に平行な分力と斜面に垂直な分力を作図する問題です。1つの力を2つの力に分解する場合、分解される力を対角線とする平行四辺形の2辺が分力となりますので、特に本文に記載はありませんが、補助線などがかけられていても可となると思われます。また、「小球に働く重力の斜面に平行な分力と、斜面に垂直な分力を解答用紙の方眼を入れた図にそれぞれ矢印でかけ」と問題文に記載があるため、解答の矢印が2本未満であったり、作図した分力が矢印で表されていないものは、不可になると思われます。